

スーツ、ジャケット、色々なアイテムがありますが、中でもコートは『使う生地量』が最も多く『生地そのものを纏っている』と言っても過言ではありません。即ち経営者のコート選びを考える上で最優先すべきは『生地を厳選する』ことにあります。

また以前イタリア人に言われたことで印象的な言葉があります。

『コートは防寒だけのものではない。ホテルやレストランのクロークに預ける時のことも考えなくてはならない。』

だからステイタスシンボルとしてふさわしいものを着ていなくてはいけないんだ。

寒ささえしのげれば何を着てもかまわない、という考え方は本当の紳士ではない。』

そこで私が考える『コート選びの3つの極意』は

生地にこだわる

ビジネスコートとカジュアルコートは  
明確に分ける

使い回しを考え  
最低でも3着のコートを持つ

の3つです。コートにも様々な種類があり何を調べばよいのか分からない方も多いのではないかと思います。

そこで今月号の**ニュースレター**では『3つの質問』から最も相応しいコートを導き出したいと思います。

早速右の3つの質問に答えてみてください！

① を選ばれた方

② を選ばれた方

## ① シングルチェスターコート

19世紀に英国でチェスターフィールド伯爵が初めて着たと言われている伝統的なコート、冠婚葬祭～ビジネスシーンまで幅広く使うことの出来る、男性のコートの中で最もフォーマルな形です。ジャケットが少し長くなったような形をしています。

エレガントにお召し頂く場合はコートの長さを長く、カジュアルな雰囲気生地であれば膝くらいの丈で仕上げると◎です。黒のカシミアのチェスターコートは一着持っておかれることをオススメします。

コートのフォーマル度は、デザインに左右されるのはもちろんですが『色』も大きな決定要素です。いくらチェスターフィールド型のコートでも、キヤメルカラーやライトグレイではフォーマルには着用できませんし、チェスターコート以外でも黒、濃紺、チャコールグレイなどのダークカラーならばフォーマルに着用できますし、日々のビジネスにも十分利用が可能です。



## ② ダブルチェスターコート

①のシングルチェスターコートがダブル仕立てになった形。ダブル仕立てになっている以外は全体のシルエットは全く変わりません。襟の形が『ピークドカラー』と呼ばれる先端がとがった形になっており、腰のポケットが『チェンジポケット』と呼ばれるポケットが並行に二個ついている形になっています。

シングルチェスターコートに比べより『クラシックな印象』に仕上がるコートです。



チャート式

# 経営者の

# コートの選び方